

取扱説明書

乾燥玉ねぎ調製機

TC3000



当製品を安全に、また正しくお使いいただくために必ず本取扱説明書をお読みください。誤った使い方をすると、事故を引き起こすおそれがあります。

お読みになった後も必ず製品に近接して保存してください。

**乾燥玉ねぎ調製機 TC3000 を
お買い上げいただき、ありがとうございます。**

はじめに

- この取扱説明書は、乾燥玉ねぎ調製機 TC3000 の取扱方法と使用上の注意事項について記載してあります。ご使用の前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みの上、正しくお取扱いいただき最良の状態でご使用ください。
- お読みになった後も必ず製品に近接して保存してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡しください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合、速やかに当社にご注文ください。
- なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、本書の内容及び写真・イラストなどの一部が、本機と一致しない場合がありますので、ご了承ください。
- ご不明なことやお気付きのことがございましたら、お買い上げいただきましたお店、またはお近くの特約店・販売店・J Aにご相談ください。
- **⚠マーク**は、安全上特に重要な項目ですので、必ずお守りください。
- 「安全上のご注意」をご使用前に必ずお読みください。
- 二次元コードから調節方法など製品に関する動画をご覧いただけます。



TC3000 HP リンク

目 次

はじめに

1.	安全上のご注意	3
2.	使用上のご注意	5
3.	安全銘板の貼り付け位置	6
4.	本製品の使用目的について	6
5.	各部の名称	7
6.	仕様	8
7.	付属品一覧	8
8.	作業前の準備	9
9.	使い方	10
10.	玉ねぎの仕上がり調節	11
11.	各部の調節	15
12.	手入れ・保管上の注意	17
13.	回路図	18
14.	別売部品	19
15.	消耗部品の交換	20
16.	故障の診断と処置	24

1. 安全上のご注意

ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、危害や損害を未然に防止するためのものです。ご使用前にお読みいただき、必ずお守りください。



取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うおそれがあります



取扱いを誤った場合、傷害または物的損害が発生するおそれがあります



してはいけないこと
を示します



必ずしなければいけ
ないことを示します

使用環境について



子供には充分注意し、本機に近づけない
ケガの原因になります



次のような場所では使用しない
不安定な場所/傾いた場所/水のかかる場所/火器の近く

電源について



電源プラグは根元まで確実に差込む
感電やショート、火災の原因になります



AC100V 電源のコンセントを単独で使う
タコ足配線をしないでください
火災や漏電の原因になります



電源コードや電源プラグを傷つけない
傷ついた電源コードや電源プラグ、ゆるんだコンセントは使わない
断線や感電の原因になります



電源プラグは濡れた手で抜き差ししない
感電の原因になります



コンセントから抜くときは電源ケーブルを持たずに電源プラグを持って抜く
感電やショート、火災の原因になります



電源プラグにほこりが付着している場合はよく拭き取る
火災の原因になります



使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く
お手入れや点検・整備の際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください
ケガや感電、落雷による故障の原因になります



作業中停電した場合は、電源プラグをコンセントから抜く
通電時、急にまわりだしケガや事故の原因になります

取扱いについて

▲ 注意

	異常、故障時には使用を中止する 故障や破損、事故の原因になります
	改造をしない 故障や破損、事故の原因になります
	他製品のアタッチメントや誤った部品は取付けない 故障や破損、事故の原因になります
	他人に貸す場合は、取扱い方法をよく説明し取扱説明書をよく読むよう指導する また、取扱い方法を十分に理解していない人には本機を貸さない 事故の原因になります
	次のときには本機を使用しない ・過労・病気・薬物の影響、その他の理由により作業に集中できないとき ・酒類を飲んだとき ・妊娠しているとき ・18才未満の人 事故の原因になります
	作業に適した服装をする 袖や裾の締まりのよい服装をしてください 手ぬぐいやタオルを頭や首に巻いて作業しないでください 回転部に巻き込まれ事故の原因になります
	2人以上で作業する時は、お互いに合図しながら機械を始動する 事故の原因になります
	ベルト、プーリーなど動いているすべての部品に手を近づけない ケガや事故の原因になります
	カバー類は必ず取付ける 点検・整備などで取外したカバー類は必ず取付けてください ケガや事故の原因になります

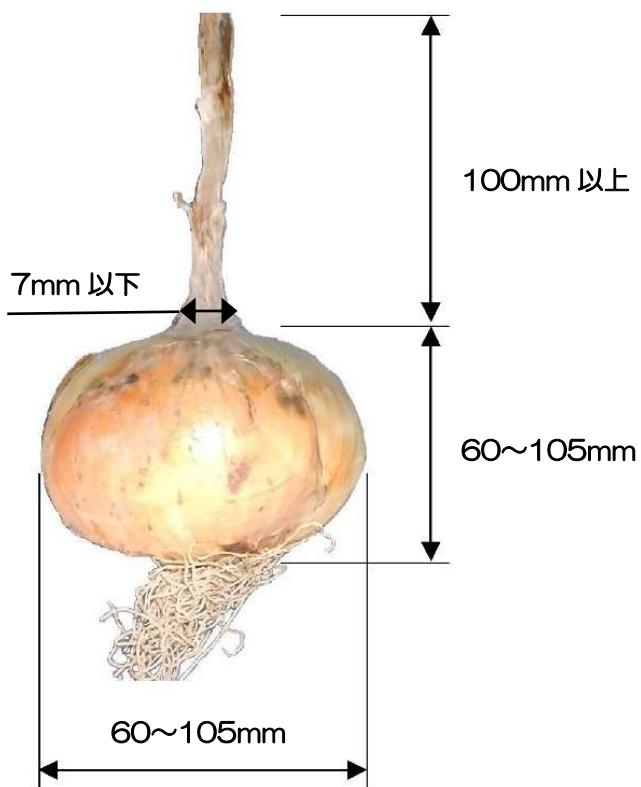
手入れ・保管について

▲ 注意

	点検・整備を行う 機械を使用する前後には必ず点検・整備を行ってください ケガや事故、機械の故障の原因になります
	電機部品には絶対に水をかけない ケガや事故、機械の故障の原因になります

2. 使用上のご注意

- ・ 本機は乾燥玉ねぎ専用です。乾燥していない玉ねぎは投入しないでください。
- ・ 調製できる玉ねぎは下記の①～④の条件全てを満たすものです。
 - ① 葉の根元が茶色くなるまで乾燥させた玉ねぎ
 - ② 直径 60～105 mm の玉ねぎ
 - ③ 葉の長さ 100 mm 以上の玉ねぎ
 - ④ 葉の直径 7 mm 以下の玉ねぎ



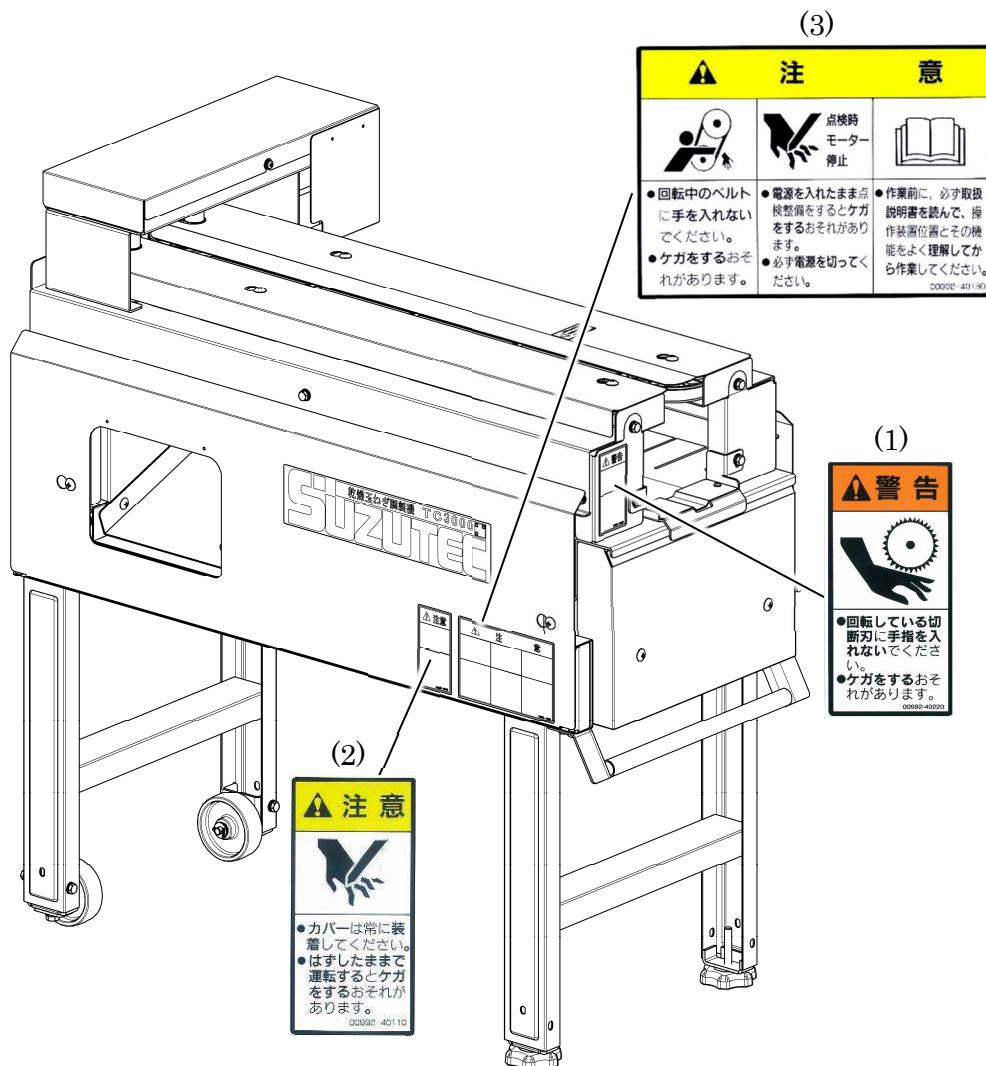
(注意) ①～④を満たさない玉ねぎは調製できません。

①～④を満たさない玉ねぎを投入しますと、性能が著しく低下したり、機械が破損するおそれがあります。

- ・ 根の長さが 30 mm 以上残っているとよく切れます。
- ・ 刃にひび割れ、欠け、変形、摩耗などの異常がないことを確認し、異常のあるものは使用しないでください。なお刃の点検時には手袋を着用してください。

3. 安全銘板の貼り付け位置

安全に作業をしていただくために安全銘板の貼り付け位置を示したものです。
安全銘板は常に汚れや破損のないように保ち、もし破損・紛失した場合は、新しく貼り直してください。



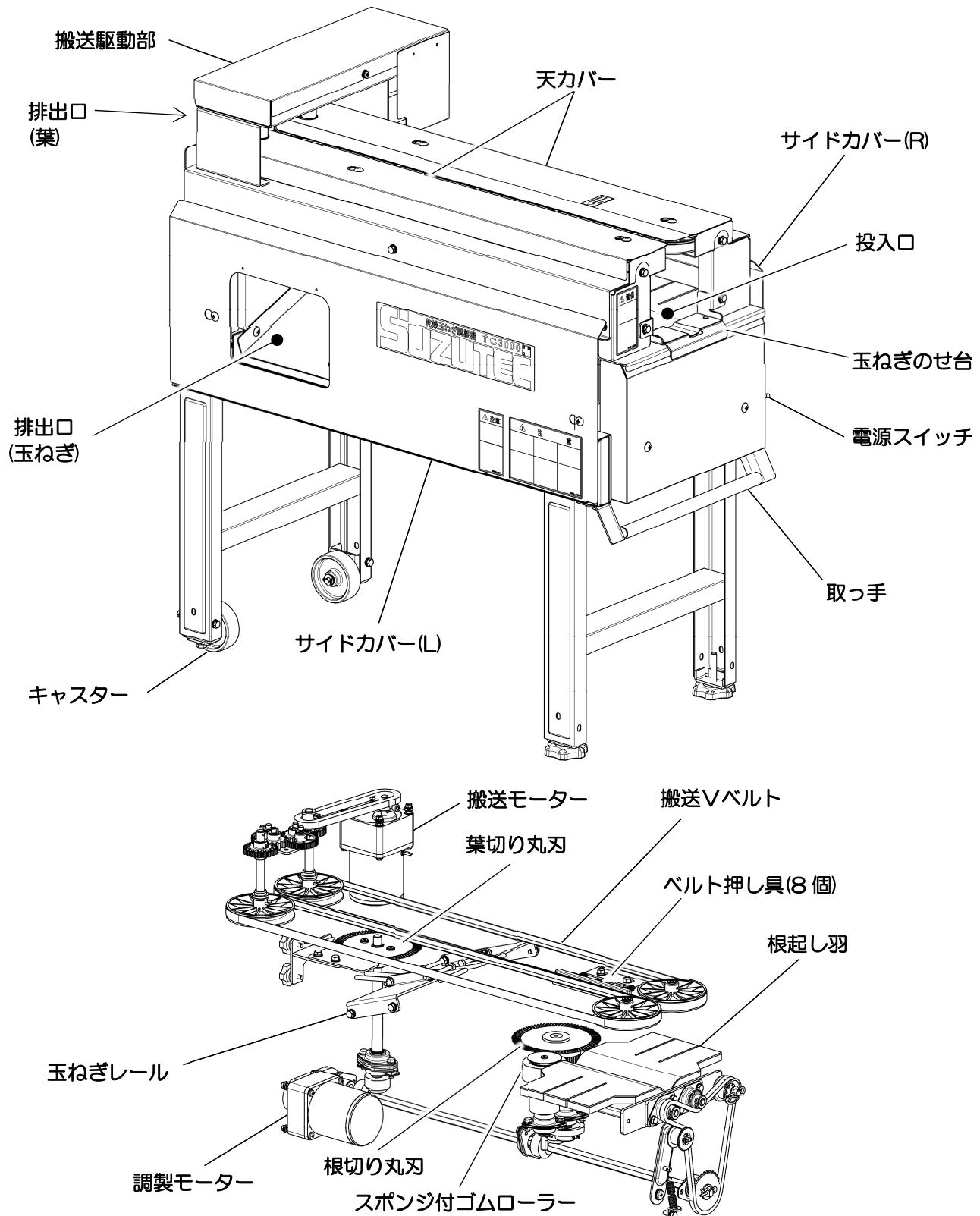
紛失または破損された場合には、当社へ下記の表を参考にご注文ください。

No	部品番号	部品名称
(1)	00992-40220	警告ラベル WL-10
(2)	00992-40110	注意ラベル CL-8
(3)	00992-40130	注意ラベル CL-10

4. 本製品の使用目的について

本製品は、乾燥玉ねぎの根及び葉の調製作業機としてご使用ください。
使用目的以外の作業や改造などは、決して行わないでください。

5. 各部の名称



6.仕様

型 式		TC3000	
電源周波数		50Hz	60Hz
機 体 寸 法	全 長	860mm	
	全 幅	460mm	
	全 高	885mm	
重 量		48kg	
動 力	搬 送	25W／100V／定格 0.65A	25W／100V／定格 0.6A
	調 製	25W／100V／定格 0.65A	25W／100V／定格 0.6A
切 断 部	根切断方式	根起し羽 + ディスクカッター	
	葉切断方式	ディスクカッター	
搬 送 部	搬 送 方 式	Vベルトによる葉の挟み込み	
	搬 送 速 度	5.6m/分	6.7m/分
最大作業能率		2,500 個／時	3,000 個／時
調 製	根 長 さ	5～10mm	
	葉 長 さ	15～35mm	

※この仕様は改良などにより、予告なく変更することがあります。

7.付属品一覧

付属品が全て揃っているか確認してください。

	イラスト	名称	個数	組付参照ページ
A		取扱説明書	1	

8. 作業前の準備

！ 注意

本機は重量 48kg です。梱包箱からの取出しや移動は2人以上で行ってください。

ケガをしたり腰を痛める原因となります。

長い距離や段差・急な傾斜のある地面での移動は避けてください。

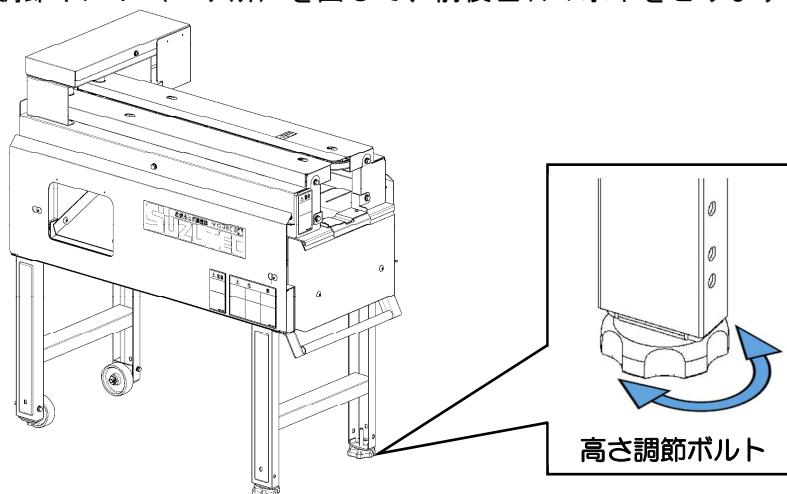
キャスターと地面とのすき間に足先や手などをはさまないように注意してください。

8. 1 本製品の設置

- (1) 平坦な場所を選び、設置してください。

移動の際は、取っ手を持って前脚を浮かせて移動します。

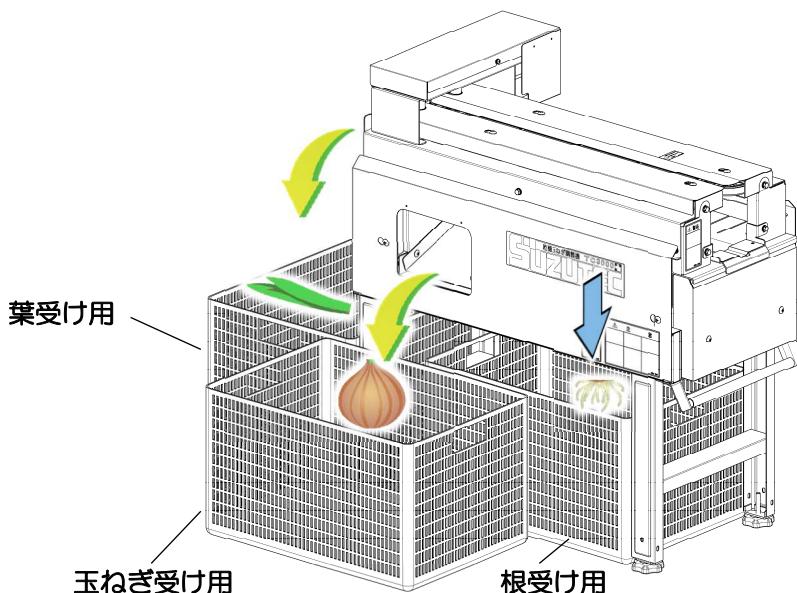
- (2) 本機の高さ調節ボルト（2ヶ所）を回して、前後左右の水平をとります。



8. 2 コンテナの設置

3つのコンテナを設置すると片づけ作業が軽減できます。

(コンテナ推奨サイズ：たて 365mm × よこ 520 mm × 高さ 305 mm)



9. 使い方

⚠ 注意

電源電圧は AC100V±5V を安定して供給してください。
適切な電源電圧でないと、故障や動作不良の原因となります。

- (1) 電源スイッチが「OFF」になっていることを確認し、電源プラグを AC100V のコンセントに差込みます。
 - (2) 電源スイッチを「ON」にしてください。
 - (3) 玉ねぎの葉の上部を片手で持ち、根が真下を向くように、投入口から玉ねぎのせ台に載せます。
 - (4) 玉ねぎの葉を持ったまま、搬送Vベルトの間に葉をくい込ませます。
このとき、玉ねぎが玉ねぎのせ台から浮き上がらないように注意してください。
 - (5) 搬送Vベルトが葉を挟み、玉ねぎが搬送され始めたら葉から手を離します。
 - (6) 作業工程：『根を伸ばして揃える』→『根を切断』→『葉を切断』
 - (7) 調製された玉ねぎは、側面の玉ねぎ排出口から排出されます。
 - (8) 玉ねぎを連續して投入する場合は、上面の赤い矢印位置まで玉ねぎの葉が来てから次の玉ねぎを入れてください。
- (注意) 玉ねぎの大きさや形状によって仕上がりが異なる場合があります。
本作業をする前に試し切りすることをおすすめします。
- (9) 休憩時や作業終了時は電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグを抜いてください。

⚠ 注意

使用中、玉ねぎが製品内部にひっかかった場合は必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと取出してください。

10. 玉ねぎの仕上がり調節

！注意

調節の際は必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

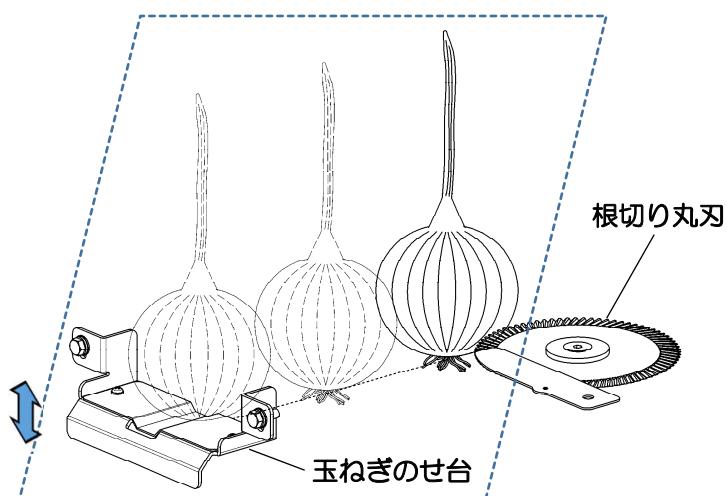
回転部に巻き込まれるなど、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

取外したカバーは必ず取付けてください。衣服が巻き込まれ傷害事故を引き起こすおそれがあります。

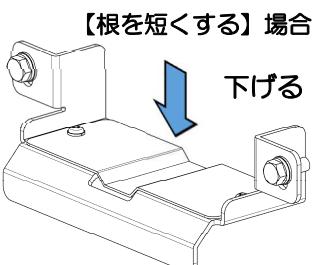
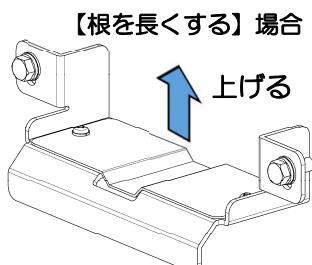
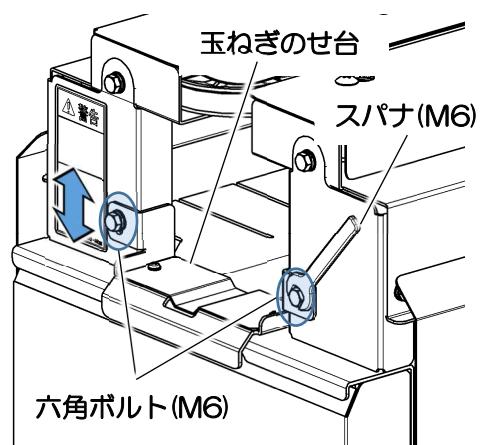
10.1 根の長さの調節

玉ねぎが希望する根の長さに仕上がるよう玉ねぎのせ台の高さを調節します。

※根切り丸刃の高さは変わりません。玉ねぎのせ台の高さを調節することで、根切り丸刃に当たる玉ねぎの高さが変わります。



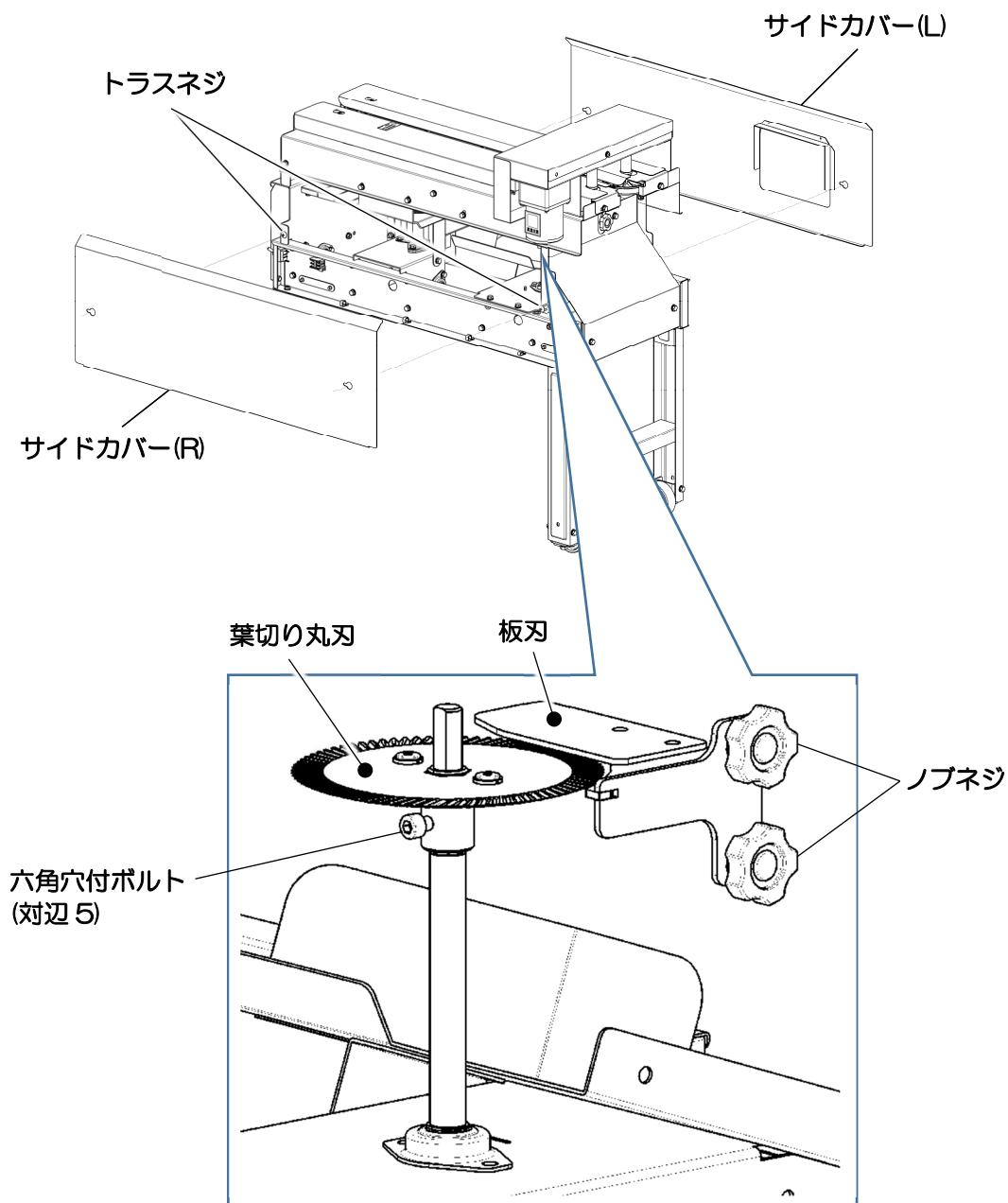
- (1) 玉ねぎのせ台の六角ボルト(2ヶ所)をゆるめます。
 - (2) 玉ねぎのせ台の位置を決め六角ボルトで固定します。
- (注意) 玉ねぎのせ台の下げ過ぎに注意してください。下げ過ぎると玉ねぎが斜めに搬送され、根のカット面が斜めになります。



10.2 葉の長さの調節

玉ねぎが希望する葉の長さに仕上がるよう葉切り丸刃の高さを調節します。

- (1) ト拉斯ネジ(4ヶ所)をゆるめ、サイドカバー(L)とサイドカバー(R)を取り外します。
- (2) 板刃を留めているノブネジ(2ヶ所)をゆるめ、長穴の一番上に移動させて仮止めします。
- (3) 葉切り丸刃のボスに付いている、六角穴付ボルトをゆるめ、葉切り丸刃を上下させて任意の位置で固定します。
- (4) 葉切り丸刃の高さに合わせて、板刃をセットします。
- (5) 板刃と葉切り丸刃のスキマを5mm以内で接触しない程度に調節し、ノブネジで固定します。
- (6) サイドカバー(L)とサイドカバー(R)を元の位置に戻し、ト拉斯ネジで固定します。



10.3 葉を挟む強さを調節

玉ねぎにより葉を挟む適正強さが異なります。

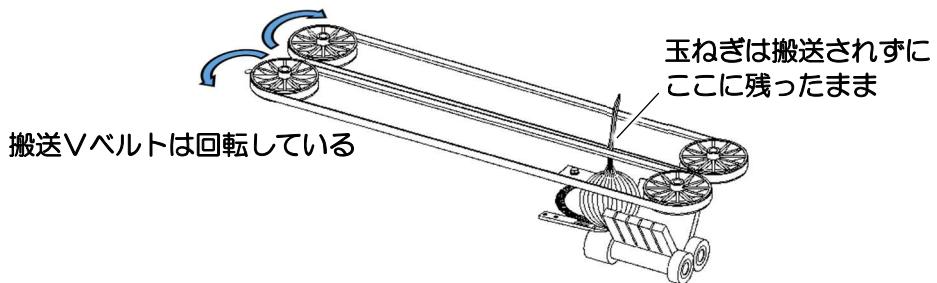
Ⓐ～Ⓒのうちいずれかの症状が多く発生する場合は葉を挟む強さを調節してください。

※調節手順は次ページ(1)～(4)参照

【Ⓐ葉が搬送Vベルトから抜けて

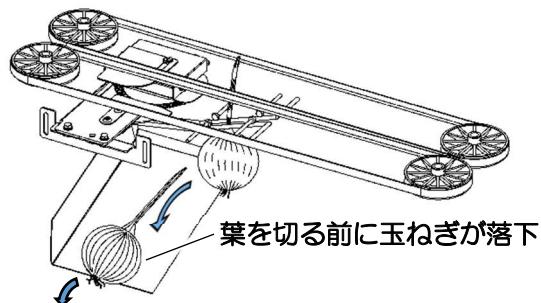
根起しローラーまたは根切り丸刃の上に玉ねぎが残ってしまう】

→(原因)根を引っ張る力が「葉を挟むVベルトの強さ」より強い



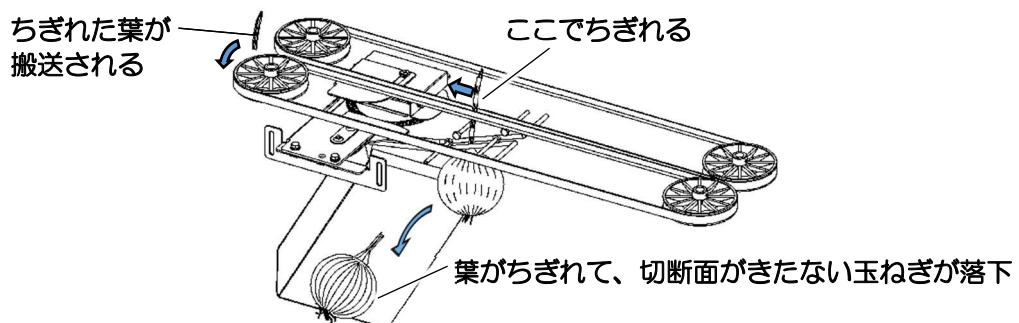
【Ⓑ葉が搬送Vベルトから抜けて葉が切れずに排出されてしまう】

→(原因)玉ねぎを押下げる力が「葉を挟むVベルトの強さ」より強い



【Ⓒ葉が搬送途中でちぎれて排出されてしまう】

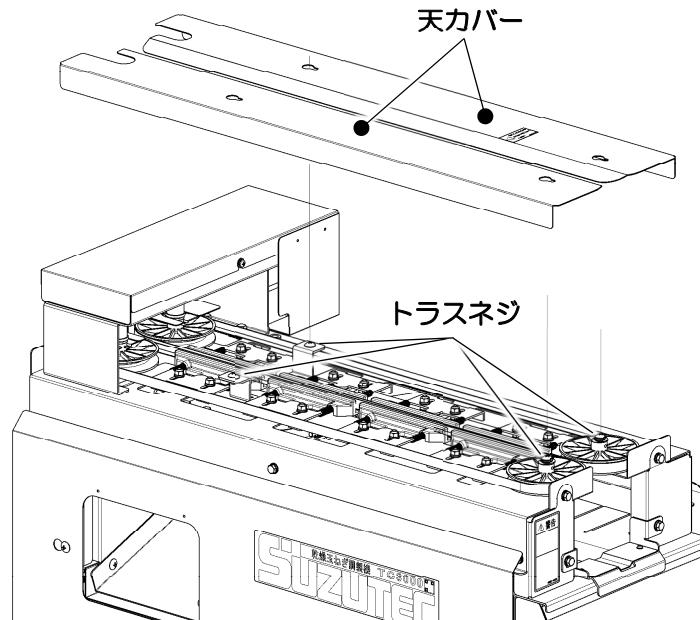
→(原因)「葉を挟むVベルトの強さ」が強く、葉が弱くちぎれやすい



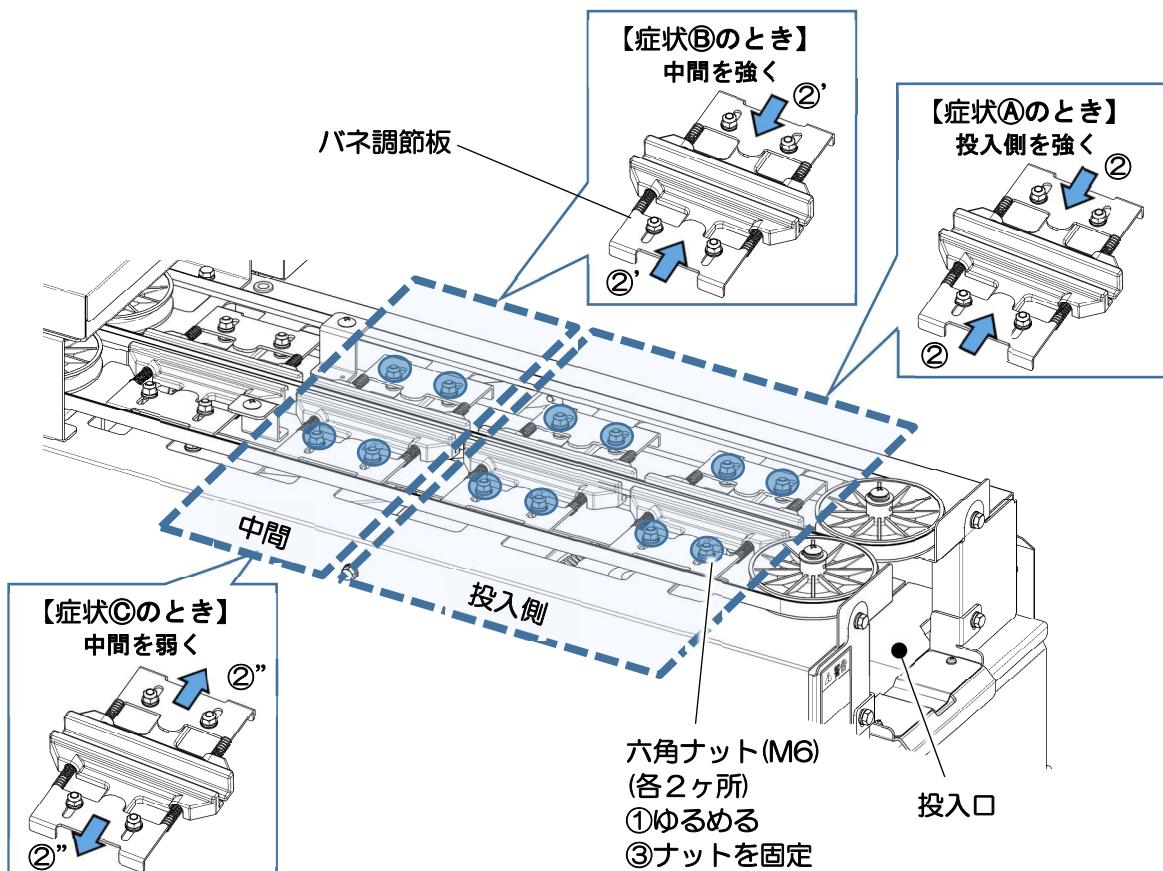
10.3 葉を挟む強さを調節（つづき）

調節手順

- (1) トラスネジ(4カ所)をゆるめ、天カバーを取り外します。



- (2) バネ調節板の六角ナット(各2ヶ所)をゆるめます。(①)
(3) 症状に応じた場所のバネ調節板を矢印の方向に動かし(②)、六角ナットで固定します(③)。



- (4) 天カバーを元の位置に戻し、トラスネジで固定します。

1.1. 各部の調節

！注意

調節の際は必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

回転部に巻き込まれるなど、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

取外したカバーは必ず取付けてください。衣服が巻き込まれ傷害事故を引き起こすおそれがあります。

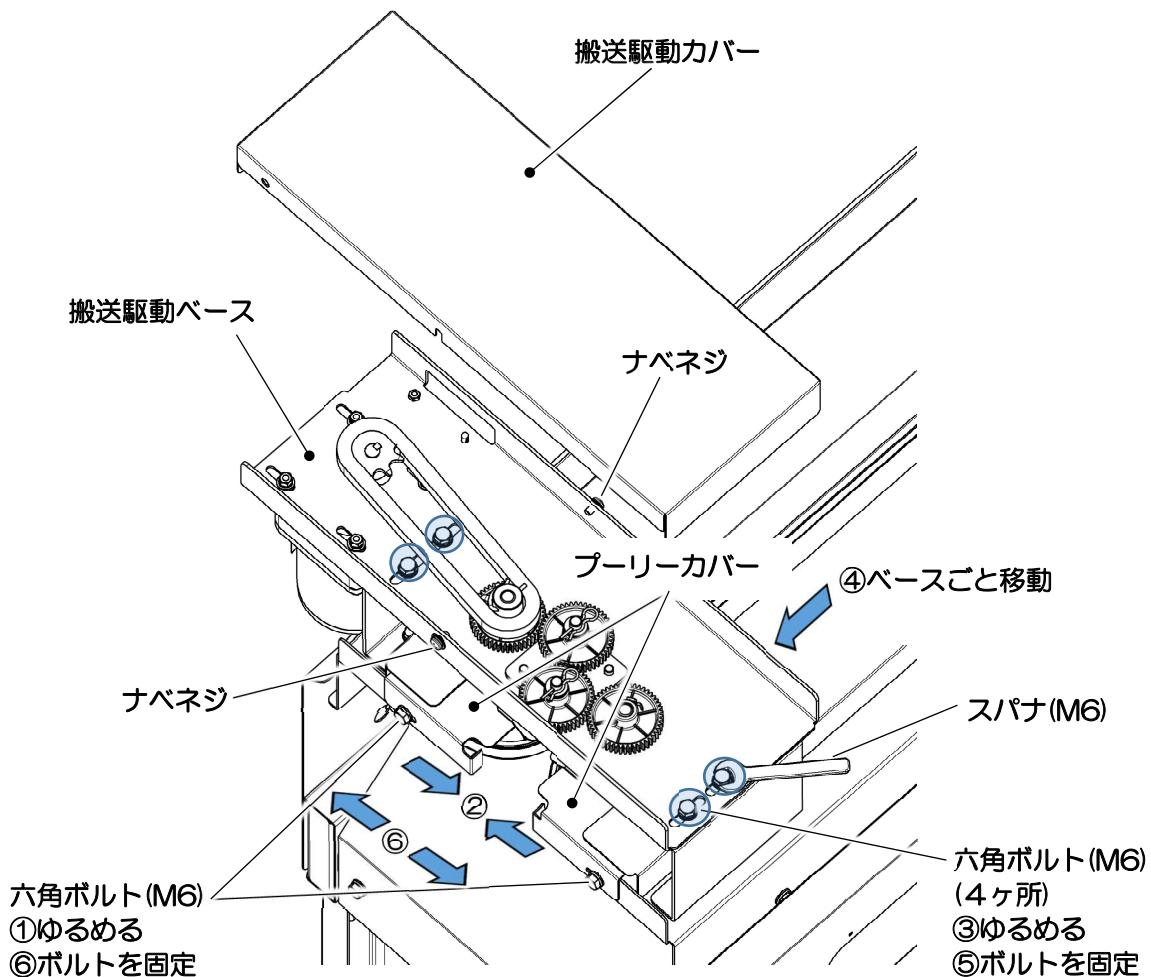
1.1.1 搬送Vベルトの張り調節

(搬送Vベルトが伸び、プーリーがスリップする場合に行う)

- (1) 六角ボルト(2ヶ所)をゆるめ(①)、プーリーカバーを内側に寄せます(②)。
- (2) ナベネジ(2ヶ所)を緩め、搬送駆動力バーを外します。
- (3) 搬送駆動ベースを止めている六角ボルト(4ヶ所)をゆるめ(③)、ベースごと動かします(④)。

(注意) 搬送Vベルトの張りすぎに注意してください。

- (4) 六角ボルト(4ヶ所)を締め込み、ベースを固定します(⑤)。

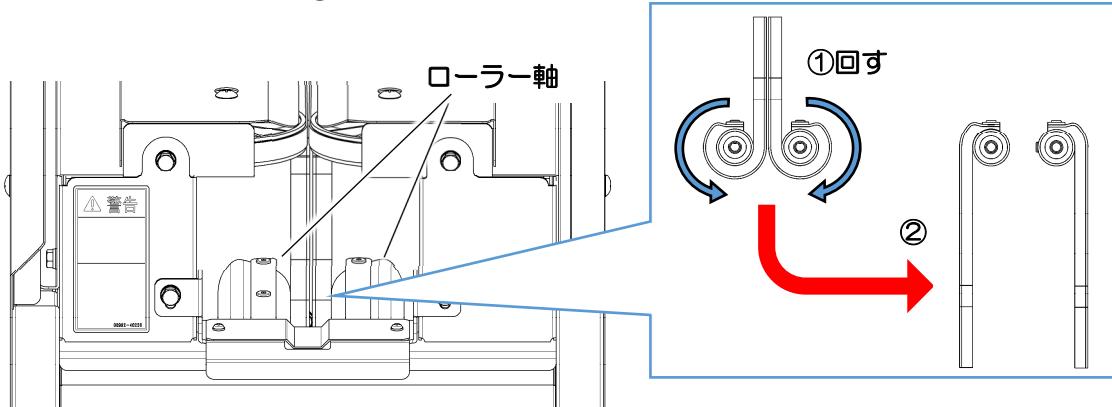


- (5) 搬送駆動バーを元の位置に戻し、ナベネジで固定します。
- (6) プーリーカバーのスクレッパー部がVベルトに接触しない位置まで外側に寄せて、六角ボルト(2ヶ所)で固定します(⑥)。

11.2 根起し羽の位相調節

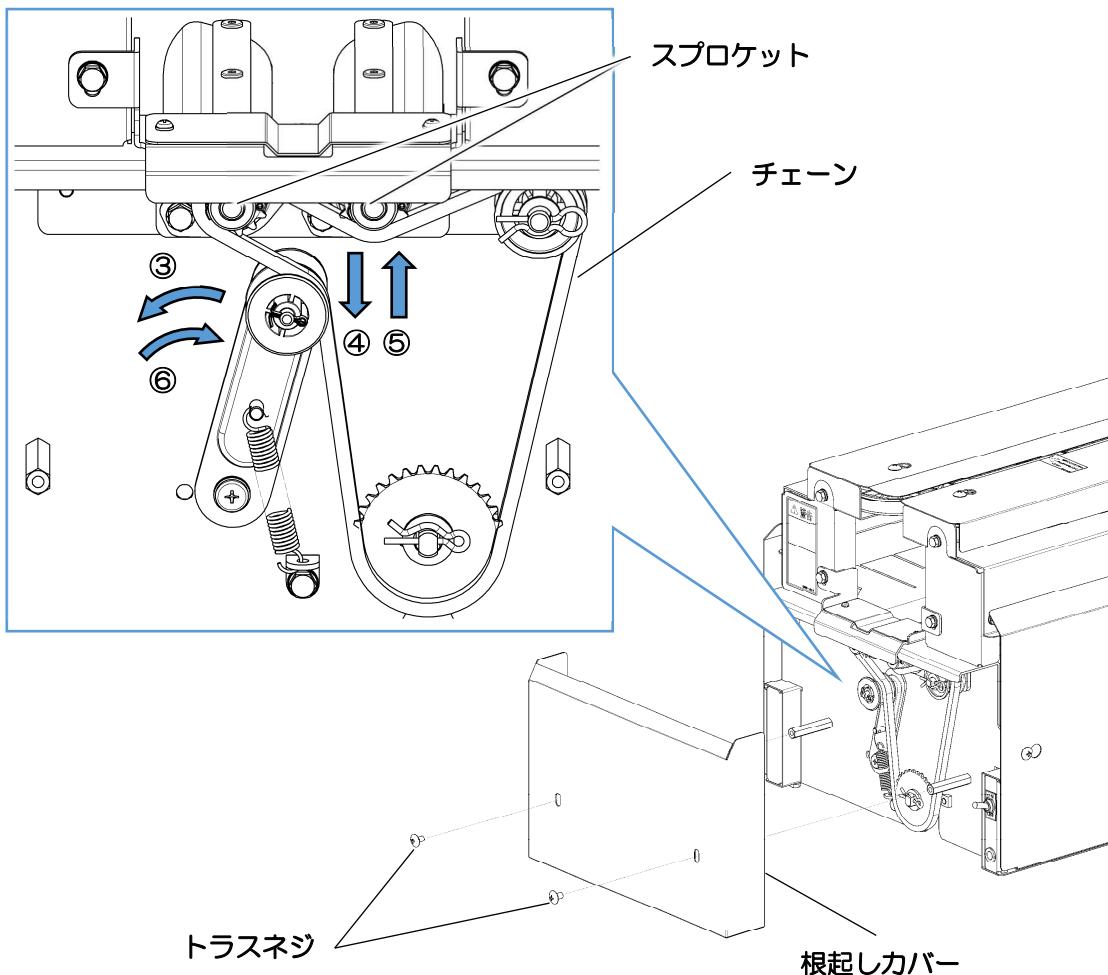
(根起し羽の合掌タイミングがズレている場合に行う)

- (1) 根起し羽のローラー軸を、スイッチを入れて回る方向と逆方向に手で回し(①)、羽の合掌を解きます(②)。



- (2) トラスネジ(2ヶ所)を外し、根起しカバーを外します。
(3) テンションを逃がし(③)、右側のスプロケットからチェーンを外します(④)。
(4) 羽押え板の角度が揃うように右側のローラー軸を回して調節します。
(5) スプロケットにチェーンを掛け(⑤)、テンションを戻します(⑥)。
(注意) 左右のスプロケット間に架かるチェーンが弛まないようにしてください。
(6) 根起しカバーを元の位置に戻し、トラスネジで固定します。

※根起し羽は、電源を入れ根起し羽が回転すると自動で巻き付きます。



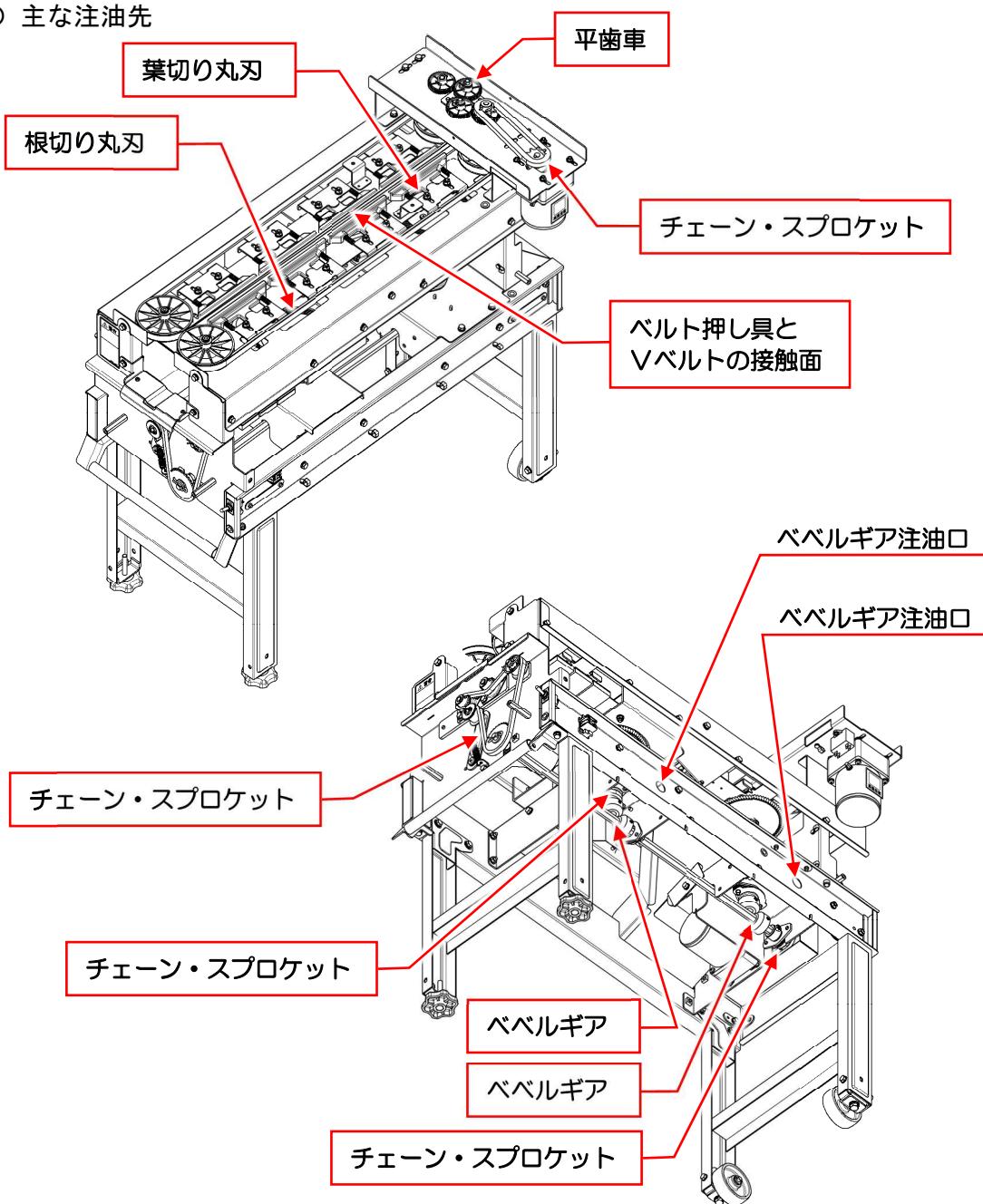
12. 手入れ・保管上の注意

⚠ 注意

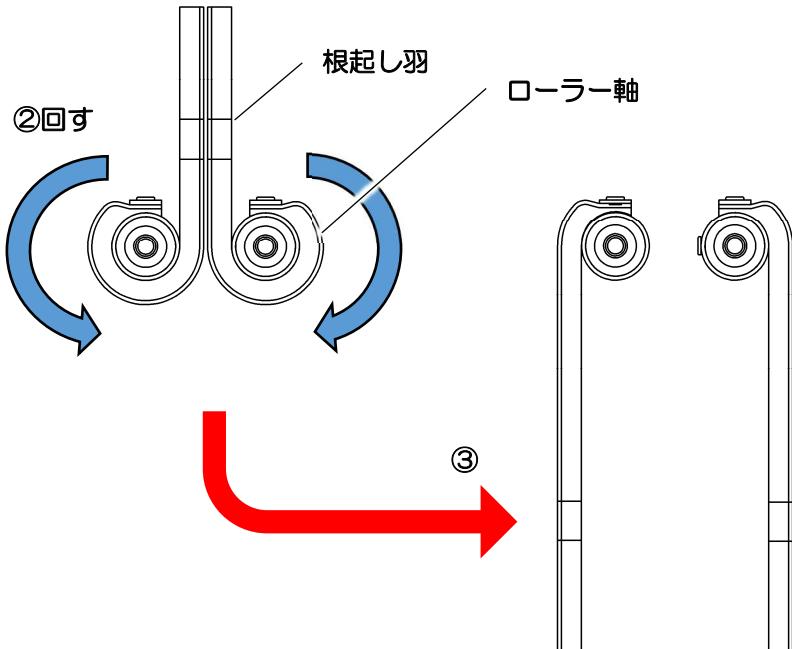
整備・保管の際は必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
コンセントに差込んだまま行うと、事故の原因になります。

- (1) カバーを取り外し、切りカスやゴミをブラシやエアなどで掃除してください。
(注意) 水洗いはしないでください。
(注意) シンナー・ベンジン・アルコールなどは使用しないでください。
変色・変形・ひび割れの原因となります。
- (2) 丸刃、歯車、スプロケット、チェーン、ベルト押し具、バネ、その他回転部へ
食品機械用潤滑油で十分に注油してください。

○ 主な注油先

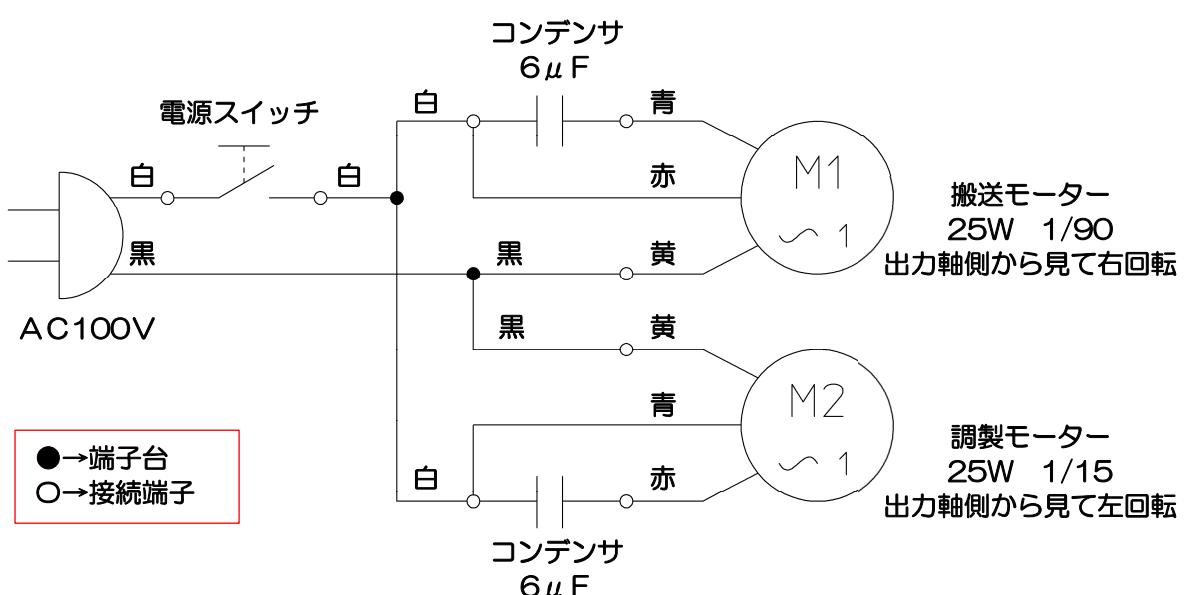


- (3) 巻きぐせ防止のため根起し羽は合掌を解いた状態で保管してください。
- ① 電源スイッチが OFF になっていることを確認し、電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - ② 根起し羽のローラー軸を、スイッチを入れて回る方向と逆方向に手で回してください。
 - ③ 根起し羽の合掌が解かれ、右側の図のようになります。
※電源を入れ、根起し羽が回転すると自動で巻き付きます。



- (4) 本機はプラスチックを使用しておりますので、直射日光を避けた湿気の少ないところに保管してください。
- (5) 雨を避け、平坦なところに保管してください。
- (6) 保管の際は、横倒しにしたり上に物を置いたりしないでください。

13. 回路図



14. 別売部品

■消耗部品

部品名称	イラスト	部品番号	こんなときに交換
円形ノコ刃 ・根切り部専用		40013-41470	刃にひび割れ、欠け、变形があるとき または 摩耗が著しいとき
円形ノコ刃 追加工 ・葉切り部用 ・根切り部にも 使用可能		40013-41471	刃にひび割れ、欠け、变形があるとき または 摩耗が著しいとき
根起し羽 ・左右共通 ・1枚		40013-43780	表面の布が摩耗 または、はがれて 根が切れないと (左右とも交換する場合 は2枚必要)
スポンジ付 ゴムローラー		40013-43820	スポンジが摩耗 または、はがれて 根が切れないと

15. 消耗部品の交換

！注意

部品を交換する際は必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
回転部に巻き込まれるなど、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

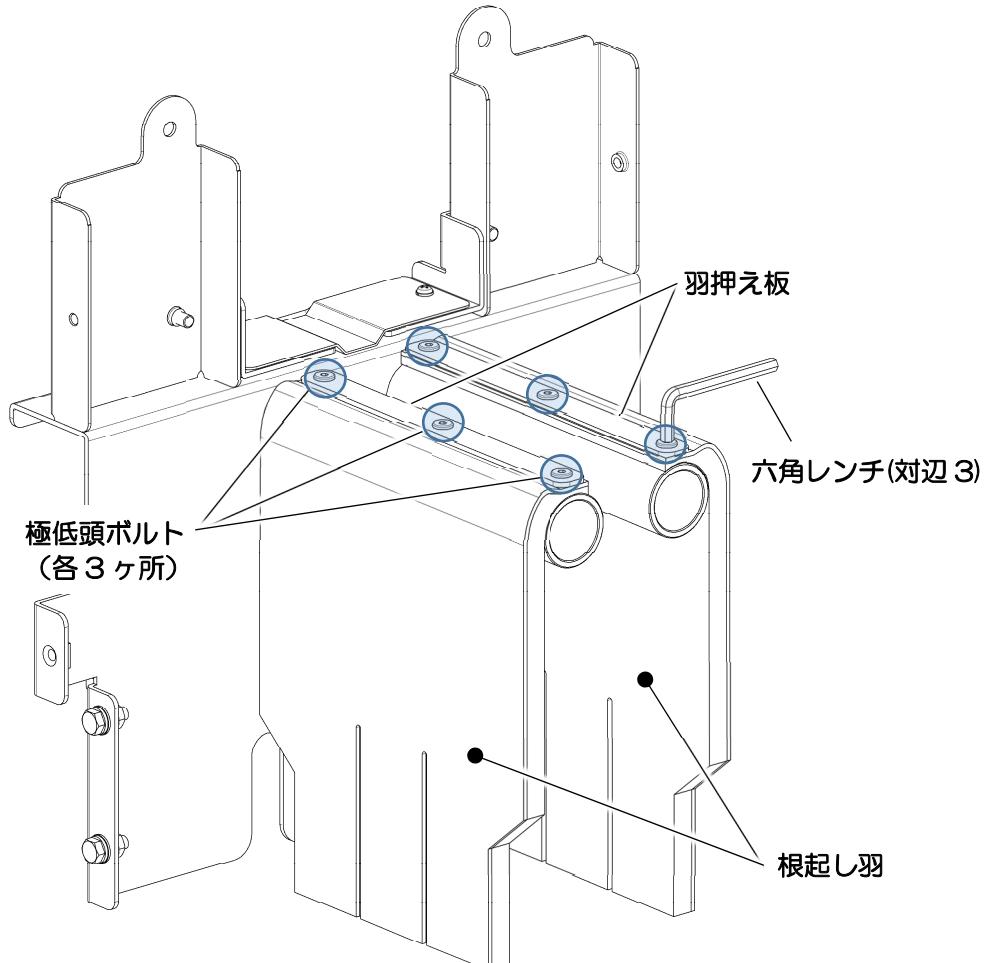
交換時は手袋を使用してください。

取外したカバーは必ず取付けてください。衣服が巻き込まれ傷害事故を引き起こすおそれがあります。

15.1 根起し羽の交換

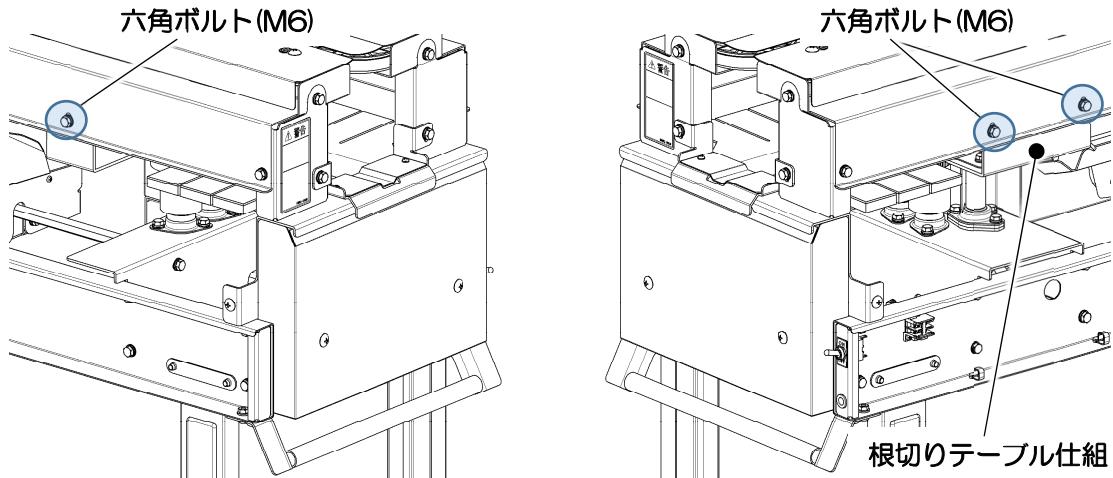
根起し羽を「12. (3)」の巻きぐせ防止の状態にします。

- (1) トラスネジ(4ヶ所)をゆるめ、サイドカバー(L)(R)を取り外します。
 - (2) 根起し羽の合掌を解きます。
 - (3) 極低頭ボルト(各3ヶ所)を外し、新しい根起し羽と交換します。
 - (4) 根起し羽に羽押え板を当て、スポンジを潰しながら極低頭ボルトで固定します。
 - (5) サイドカバー(L)(R)を元の位置に戻し、トラスネジで固定します。
- (注意) 根起し羽の交換後、左右の羽の回転タイミングがズレている場合は
「11.2 根起し羽の位相調節」を行ってください。

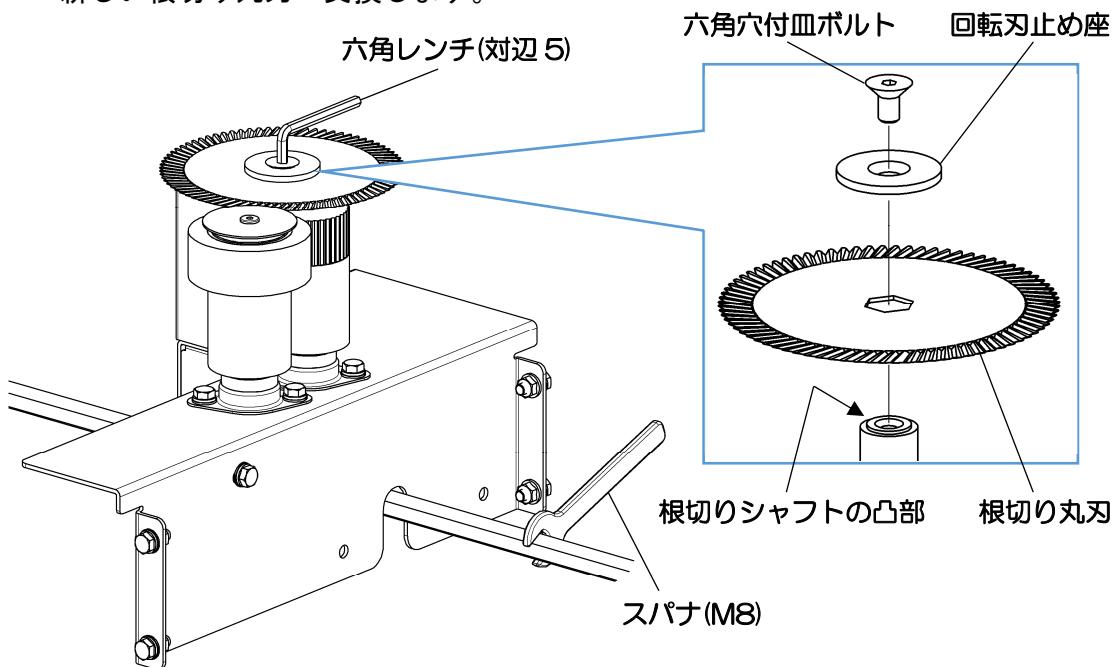


15.2 根切り丸刃の交換

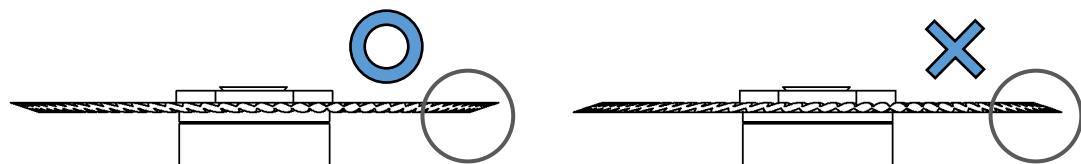
- (1) トラスネジ(4ヶ所)をゆるめ、サイドカバー(L)(R)を取り外します。
- (2) 六角ボルト(3ヶ所)を外し、根切りテーブル仕組を取り外します。



- (3) スパナで軸の回転を抑え、根切り丸刃を固定している六角穴付皿ボルトを外し、新しい根切り丸刃へ交換します。



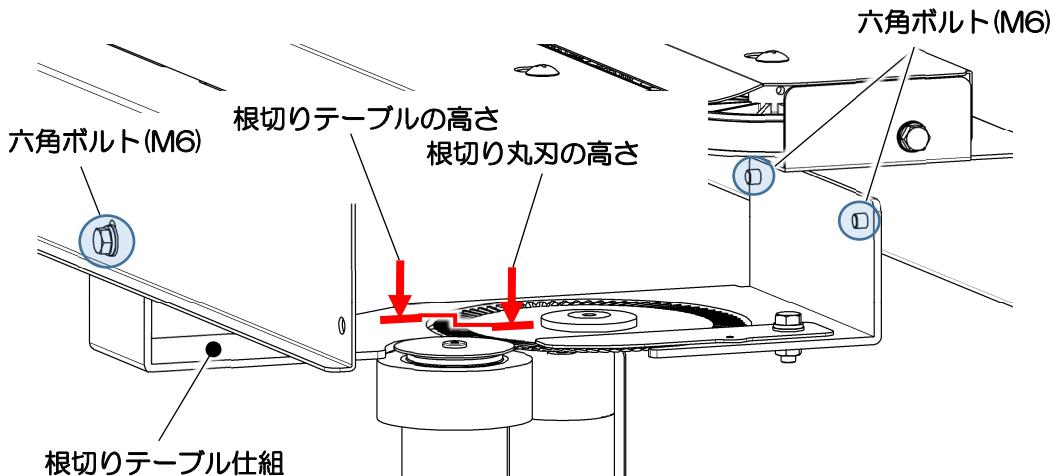
(注意) 根切り丸刃の裏表に注意してください。



- (4) 六角穴付皿ボルトをしっかりと締め付け、根切り丸刃を固定します。
- (5) 根切り丸刃を手で軽く回して、根切り丸刃の取付六角穴が根切りシャフトの凸部からはずれていないことを確認します。

15.2 根切り丸刃の交換 (つづき)

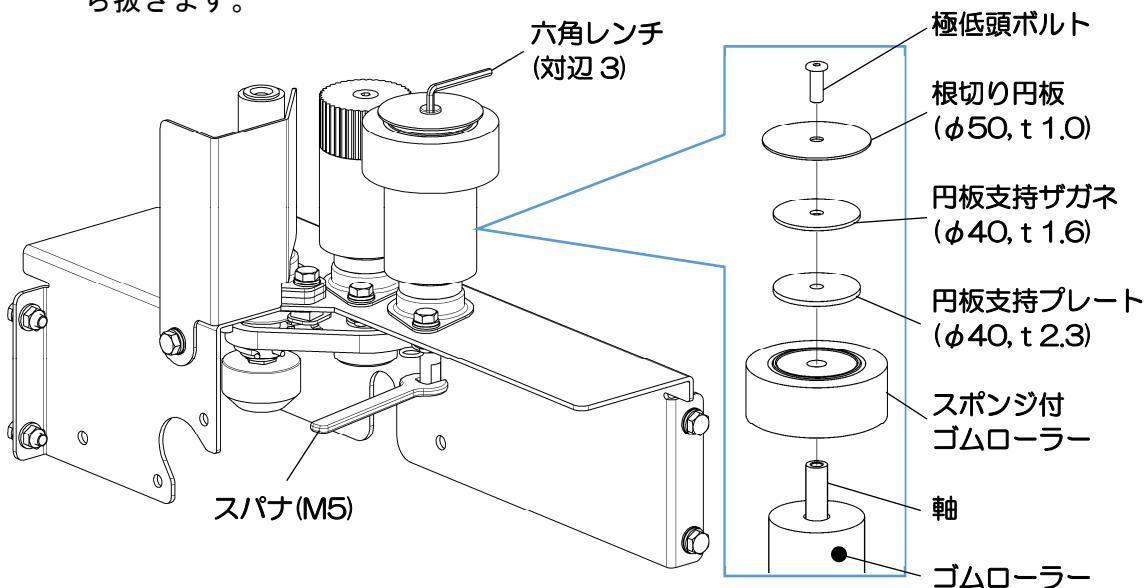
- (6) 根切りテーブル仕組を根切り丸刃の高さと同じか 1mm 位高い位置に調節し、六角ボルトで固定します。



- (7) サイドカバー(L)(R)を元の位置に戻し、トラスネジで固定します。

15.3 スポンジ付ゴムローラーの交換

- (1) 「15.2(3)」までを参照し、丸刃まで取外します。
(2) スパナで軸の回転を押えて極低頭ボルトを外し、スポンジ付ゴムローラーを軸から抜きます。



- (3) 新しいスポンジ付ゴムローラーをゴムローラーの上面に接触するまで軸に挿入し、極低頭ボルトで固定します。

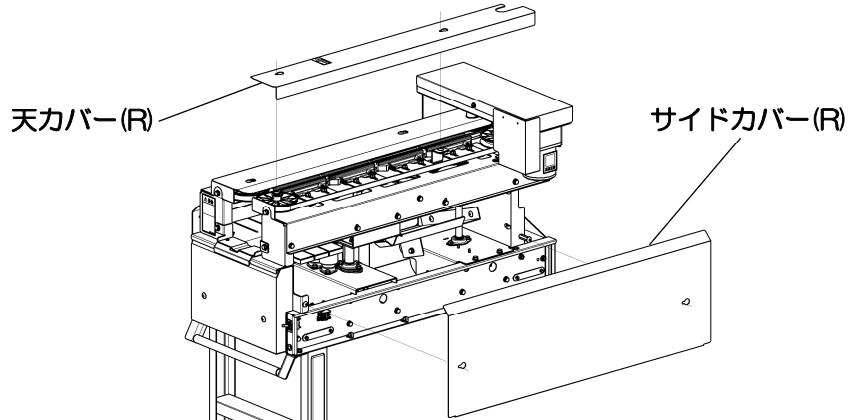
ポイント!

スポンジ付ゴムローラーは回しながらねじり込んでください。
軸に油を少しつけると入りやすくなります。

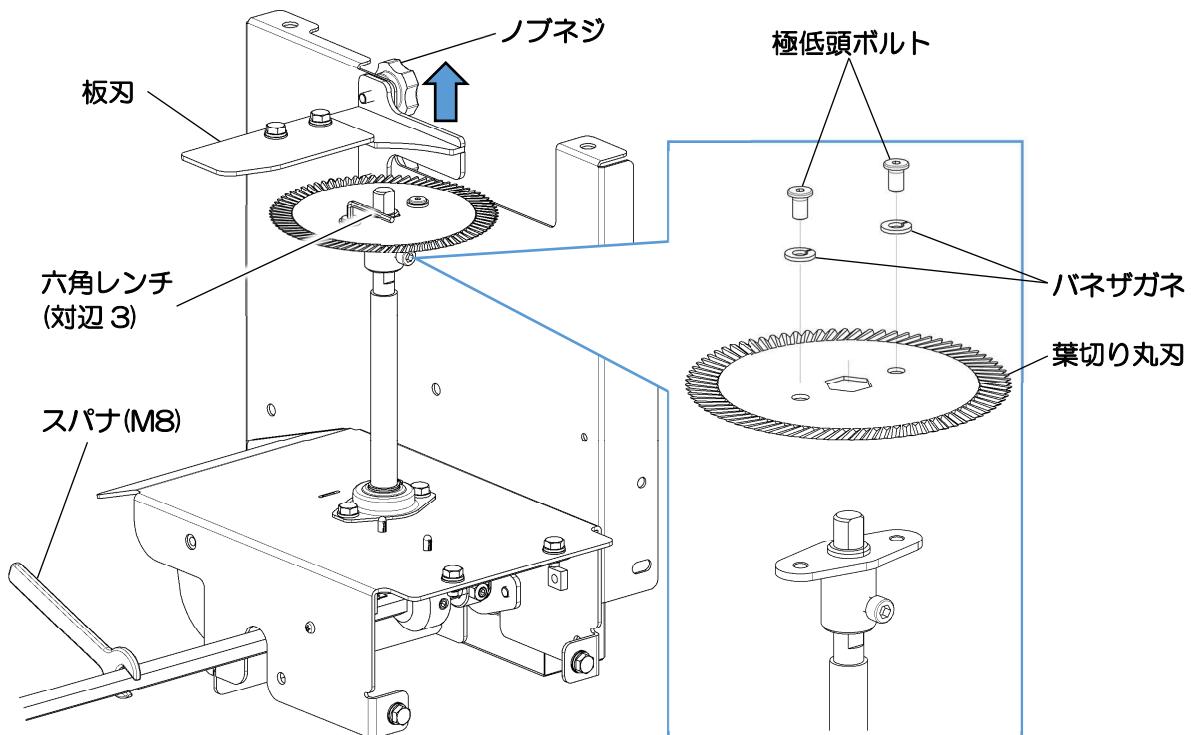
- (4) 「15.2(3)」からを参照し、丸刃、根切りテーブル仕組、サイドカバー(L)(R)を取付けます。

15.4 葉切り丸刃の交換

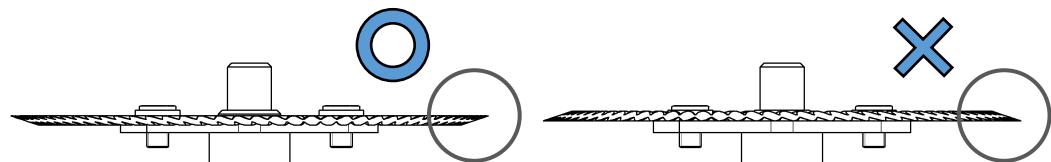
- (1) トラスネジ(4ヶ所)をゆるめ、天カバー(R)とサイドカバー(R)を取り外します。



- (2) 板刃を留めているノブネジ(2ヶ所)をゆるめ、長穴の一番上に移動させて仮止めします。
 (3) スパナで軸の回転を抑え、葉切り丸刃を固定している極低頭ボルトを外し、新しい葉切り丸刃へ交換します



(注意) 葉切り丸刃の裏表に注意してください。



- (4) 極低頭ボルトをしっかりと締め付け、葉切り丸刃を固定します。
 (5) 葉切り丸刃の高さに合わせて、板刃をセットします。
 (6) 板刃と葉切り丸刃のスキマを5mm以内で接触しない程度に調節し、ノブネジで固定します。
 (7) 天カバー(R)とサイドカバー(R)を元の位置に戻し、トラスネジで固定します。

16. 故障の診断と処置

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

症状	原因	対処
搬送モータが動かない	<ul style="list-style-type: none">● 電源プラグをコンセントに差込んでいない● 電源スイッチがOFFになっている● 電圧が低下している● 配線が断線している	<ul style="list-style-type: none">● 電源プラグをコンセントに差込む● 電源スイッチをONにする● 100V±5Vを確保する● 断線部分を修理する 13. 回路図
調製モータが動かない	<ul style="list-style-type: none">● 電圧が低下している● 配線が断線している● 根切り丸刃・葉切り丸刃・ゴムローラーの軸に切りカスがからみついている● 葉切り丸刃に板刃がかみ込んでいる	<ul style="list-style-type: none">● 100V±5Vを確保する● 断線部分を修理する 13. 回路図● そうじをする● 板刃の位置を調節する 10.2 葉の長さ調節
動かれないVベルトが	<ul style="list-style-type: none">● 搬送Vベルトが伸び、プーリーがスリップしている● ベルト押し具にVベルトが張り付いている	<ul style="list-style-type: none">● 11.1 搬送Vベルトの張り調節● ベルト押し具とVベルトを剥がし、接触面に食品機械用油を注油する

症状	原因	対処
ひつかかる途中で玉ねぎがかる	<ul style="list-style-type: none"> ● 直径 105 mmより大きい玉ねぎを投入している ● 葉の直径が 10 mm以下に潰れない玉ねぎを投入している 	<ul style="list-style-type: none"> ● 直径が 105 mm以内の玉ねぎを投入する ● 葉の直径 10 mm以下に潰れる玉ねぎを投入する
根が長めに切れる	<ul style="list-style-type: none"> ● 根の長さの調節を行っていない ● 玉ねぎ投入時、玉ねぎのせ台から浮いている ● 葉の長さが 100 mm未満の玉ねぎを投入している ● 根起し羽表面の布が摩耗しているまたははがれている ● 玉ねぎのせ台が斜めに組付いている 	<ul style="list-style-type: none"> ● 10.1 根の長さの調節 ● 玉ねぎ投入時、玉ねぎのせ台に載せる ● 葉の長さ 100 mm以上の玉ねぎを投入する ● 根起し羽を交換する 15.1 根起し羽の交換 ● 玉ねぎのせ台を水平に組付ける
に残る長い根が4本以上切れず	<ul style="list-style-type: none"> ● スポンジ付ゴムローラーが回転していない ● スポンジ付ゴムローラーが摩耗している ● 左右の根起し羽の合掌タイミングが合っていない 	<ul style="list-style-type: none"> ● 根が絡まっている場合はそうじする ● 食品機械用油を軸に注油 ● スポンジ付ゴムローラーを交換する 15.3 スポンジ付ゴムローラーの交換 ● 11.2 根起し羽の位相調節
葉が切れないまたは長めに切れる	<ul style="list-style-type: none"> ● 葉の長さの調節を行っていない ● 葉の長さが 100 mm未満の玉ねぎを投入している ● 葉を挟むVベルトの強さが弱く、搬送途中で葉がすり抜けて落下する ● 板刃と葉切り丸刃が離れすぎている 	<ul style="list-style-type: none"> ● 10.2 葉の長さの調節 ● 葉の長さ 100 mm以上の玉ねぎを投入する ● 10.3 葉を挟む強さを調節 (症状⑧) ● 板刃と葉切り丸刃を接近させる 10.2 葉の長さの調節

実り豊かな明日をひらく
株式会社スズテック

〒321-0905 宇都宮市平出工業団地 44-3
代表／TEL. 028(664)1111 FAX. 028(662)5592
URL. <http://www.suzutec.co.jp>